



相原 章会長 尾崎 康幹事



第2770地区 第1グループ 浦和中ロータリークラブ

2020-2021 クラブターゲット

「発見、創造、魅力あふれるクラブに！」

— 組織を創る 仲間を創る 明日を創る —



ロータリーは
機会の扉を開く

今日の例会

9月24日（木）第1423例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館 2 階第一ホール

卓話者：ロータリーの友理事 恵川一成様

テーマ：日本のロータリー100年に関わる「ロータリーの友」の歴史的考察

次回の例会

10月1日（木）第1424回例会

例会時間：19：00点鐘

例会場所：さいたま商工会議所会館4階特別会議室

卓話者：一般財団法人日本エネルギー経済研究所
中東研究センター 研究主幹 吉岡明子様

テーマ：『中東情勢を理解するために』

会長挨拶

会長 相原 章



皆さんこんばんわ。9月第3例会にご出席いただきありがとうございます。本日は会員研修委員会による100%出席例会です。100%例会というのは、実に素晴らしい試みであると思います。今回だけでなく、定期的にやっていたらと思います。

さて、今さらですが皆さんご存知の通り、尾崎幹事の弟さんは、敬称略させていただきますが、尾崎豊です。彼は高校時代を青山学院で過ごしました。青山学院といえばその設立に米山梅吉が深くかかわったことでも有名ですが、その話はまた別の機会とします。私の次男が中学から6年間を青山学院で過ごしました。尾崎豊の後輩にあたります。青山学院といえばご存知の通り、キリスト教のミッションスクールです。この学校は、2時間目と3時間目の15分間の休み時間に全校生徒が集まって礼拝が行われます。聖書の一説を読んで、賛美歌を歌います。毎日です。

私の息子は当時とても元気のいい子で、タバコは吸うわ、酒は飲むわ、賭け麻雀はやるわ、盗んだバイクで走り出しちゃうわ、まあとにかく元気が良かったんです。そういう子でしたから、毎日の礼拝が苦痛で仕方なかったそうです。神？いるわけねえだろ、聖書？くだらねえ、賛美歌？反吐が出るぜ、といった具合です。あれから20年たったいま、一緒に仕事していますが時々変な鼻歌を口ずさんでいるんです。なんだ、その歌？と聞くと賛美歌の何番だよって。何だか自分の心の奥にキリスト教の精神みたいなものが流れているような気がする、って言うんですよ。この時私は思いました。してやったり、青山学院。ミッション成功です。元やけど、教会の牧師になったって話、もちろん息子は反社会勢力ではありませんが、そんな話を思い出しました。教育の力は絶大です。この力をうまく利用して、時には教える側に、また時には学ぶ側に立って自分を変えてゆけ力をつけましょう。最後に、息子におまねにとつてのキリスト教の精神とは何だ？と聞きましたところ、「みんな仲良くやればいいじゃない」ということでした。それなりに真当に育ててくださった青山学院、そしてその設立に深く寄与された米山梅吉先生に感謝して、本日の例会挨拶いたします。今日はみんなで学びましょう。

リモート出席者



伊田賢一 会員 宮城洋平 会員
福田直彦 会員 吉岡淳一 会員

幹事報告 幹事 尾崎 康

- ・社会奉仕部門より九州豪雨災害義援金に関する協力の御礼が届いています。
- ・職業奉仕部門講演会（夜話会）
10月30日(金) 17：00開演（パレスホテル大宮）
- ・各部門セミナー（リモート 会長・担当・新会員）
9/26(土)米山記念奨学部門（会長・尾崎）
- ・小宮会員バンコクスリウォンRCで卓話！（松本博史会員より報告）



100%出席例会記念集合写真



祝



小嶋会員子女ご結婚

■『100%出席例会に因んで』 特別卓話 柴田 忠 会員

このところ大変多忙だったとみられ、クラブの本例会に中々見られなかった柴田会員が、特別にロータリーとりわけ、浦和中ロータリークラブへの思いを熱く語って頂きました。



- ・ロータリアンになるには、クラブに入っただけではダメで、やはり、20年位在籍していないと駄目！
- ・手続要覧が最近とても薄くなっている。ロータリーの決まりが簡素化するのには、必ずしも否定しないが少し寂しい気がする。
- ・昨日、菅総理が誕生したが、菅さんの実家は、私の生家から5 kmくらいしかなく、とても運命的なものを感じる。
- ・本年度の相原会長の会長挨拶が素晴らしい。先週の「承認欲求」の話は、とても興味深く拝聴した。
- ・その他、浦和中ロータリークラブの名称のルーツ、100%。例会のアイデア等々、久しぶりの柴田節にリモートで出席した会員も柴田会員の話術に聞き惚れていた。

■『ロータリーの基礎知識 第1回』 鈴木弘一研修リーダー



ロータリーとは、『企業活動（職業）の根本に奉仕の理念を置きこれを推奨し育む事』を目的とした職業人の奉仕団体で、地域や海外で人々の生活を改善し、親睦と平和を築くために、社会問題や人道的問題に取り組んでいます。』

10年位以前にある先輩ロータリアンから頂いたメモですが、私の手帳に常時挟んでいます。これ以上簡潔かつ正確にロータリークラブは何かと説明できる文章は無いと思います。ここ数年来、ご家庭の主婦もしくは主夫の入会が可能となり、ロータリーの職業奉仕の概念が希薄になり、「四つのテスト」「ロータリーの目的」の唱和にも力が入らないのは私だけでしょうか。



小谷野英一研修リーダー

資料1. 2010年4月の規定審議会で、CLP採用クラブの常任委員会に加えて研修・リーダーシップ委員会の設置法案が採択されました。多分この件を早々と察知された小宮泰二会員が2010～'11坂下利夫会長年度「ロータリーの勉強会をやろう」と提案され全く私的な研修会（小宮塾）が始まりました。翌2011～'12、佐藤美好会長年度からは正式にクラブとしての研修・リーダーシップ委員会ができ、年度を通じての研修会が開始されました。



資料8. 職業奉仕：自身の職業奉仕に於いて、高次の倫理観をもって自身の職場、或いはその他でこれを実践してゆこうという、他のボランティア団体には無い奉仕活動であり、何時、誰にでもできるもので、これは言わばロータリアンの生活規範をなすもので、職業奉仕はロータリーの金看板と言われておりました。

しかしながら2007～'08年度CLPの導入により委員会構成が変更になり、5大奉仕部門の一つであった職業奉仕委員会は奉仕プロジェクト委員会の中の委員会となり、2020～'21年度我がクラブの委員会構成の中からは職業奉仕委員会の名称は消え去りました。

1905年ロータリーが誕生し、東京RCが出来て100年、21世紀に入ってから20年、世界の人口動態も変わり、変化のスピードが加速し科学技術の進歩により色々な繋がりや奉仕の新たな機会が生み出されています。かような時代の変貌に合わせて、RIは奉仕の第2世紀を迎えるにあたり組織を導くStrategic Planの立案を始めました。

資料9. ロータリー戦略計画（Rotary Strategic Plan）ロータリーがこれからもダイナミックな組織であり続け、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、ロータリーの戦略計画です、（初めは長期計画と翻訳されておりました。）上述のごとく職業奉仕はロータリーの金看板であるとされておりましたが、21世紀の時代、中核となる価値観：「親睦」、「高潔性」、「多様性」、「奉仕」、「リーダーシップ」これら5つの中核的価値観がロータリアンの基本的特徴であるとされました。

資料10. 奉仕と親睦 今世紀になりRIはロータリーの特徴として、中核となる価値観を発表しました。このうち「親睦」とは、1923～'24年度RI会長を務めたガイ・ガンディカーは『良い親睦とは決してロータリーの全てでは無く、良き親睦はロータリーと言う苗木が根を下ろし、成長するための土壌をなしているのである。』と言っておられます。かつて小堀憲助先生は「ロータリーにあっては先ず親睦の歯車を回転させ、この動力を奉仕と言う大きな歯車に伝えなければならないのである。」と書かれておりました。しかし今日、親睦がロータリーの奉仕に当たるのかと考えた場合、私は「親睦」とは例会と言う歯車を動かすエネルギー源であり、順次組み合わされた「高潔性」と言う歯車、「多様性」と言う歯車、「リーダーシップ」と言う歯車、即ち中核的価値観と言う歯車を回転させ、これらを通じてよりスムーズに、又持続可能な良好な状態で「奉仕」と言う大きな歯車を回転させるための潤滑油と考えるならば、「親睦」とはロータリーの奉仕活動にはなくてはならないもの（resource: 供給源：手段）と考えられると思います。

「編集後記」 久しぶりの柴田節に感心させられ、卓話時間がほとんどなくなってしまった為、小谷野英一研修リーダーの原稿は、出来るだけ週報に載せますので、これをよく読み込んで戴ければ、幸いです。（T・K）

会長：相原 章 会長レクト・幹事：尾崎 康 クラブ管理運営・プログラム委員長：三島 泉
親睦委員長：市川浩正 会員研修委員長：辻村浩司 研修リーダー：小谷野英一 公共イメージ向上委員長：小嶋敏夫
出席報告 9月17日(木)第1422回例会

会員総数(免除)	40(1)名	本日の出席率	100 %
出席算定	39/39	メイクアップ	5
本日の出席	34		

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00
例会場：さいたま商工会議所会館 2階 第1ホール
事務局：さいたま市浦和区高砂3-17-15
TEL:048(838)7740 FAX:048(838)7741
ホームページ http://urawa-naka-rc.org